

# 行政視察報告書

令和元 年 12 月 13 日

会 派 名 令政会  
会派代表者 尾関 昭  
)

(参加者：中野 裕二

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和元年 11月 27日 (水曜日)
視察時間	14:00~16:00
視察先	長崎県佐々町 住民福祉課
視察項目	介護予防について

# 行政視察報告書

①

年月日	令和元年 11月 27日（水曜日）												
視察時間	14:00～16:00												
視察先	長崎県佐々町 住民福祉課												
視察項目	介護予防について 住民福祉課 今道晋次課長 江田佳子課長補佐												
<p><b>■目的</b> 長崎県佐々町は全国でもあまり例のない介護給付費、介護認定率、基準保険料額等の削減に成功している。江南市でも高齢者の増加に伴い介護関係費用が増加の一途をたどっており、今後の参考にするために視察をする。</p>													
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"><b>■内容</b></td> <td style="width: 50%; text-align: right;">地域包括支援センター職員配置</td> </tr> <tr> <td>佐々町の概要</td> <td style="text-align: right;">保健師 2人</td> </tr> <tr> <td>人口 13,978人</td> <td style="text-align: right;">主任介護支援専門員 5人</td> </tr> <tr> <td>世帯数 5,893人</td> <td style="text-align: right;">社会福祉士 1人</td> </tr> <tr> <td>高齢者数 3,806人</td> <td style="text-align: right;">介護支援専門員 1人</td> </tr> <tr> <td>高齢化率 27.2%</td> <td style="text-align: right;">介護認定調査員 2人 計11人</td> </tr> </table> <p>認定率が全国的にも高く、平成22年には20.6%であった。職員が危機感を感じ、当時、先進的な取り組みを行っていた埼玉県和光市を視察した。和光市の取り組みは特徴的で見習う事は出来ないが、考え方を改め独自の取り組みを始めた。認定率が平成22年の20.6%から平成29年には13.2%まで低下し、介護給付費も平成24年の1,037,635千円から平成27年には942,516千円に削減した。</p> <p><b>介護予防の取り組み内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、介護認定新規申請事前点検の徹底</li> <li>2、認知者でサービス利用のない方への訪問活動</li> <li>3、地域ケア会議における自立支援型ケアマネジメント支援・生活行為評価の導入</li> <li>4、職員も地域の活動には積極的に行き、信頼関係を築いた。（その取り組みが受け入れてもらえ、町民も介護予防の意識が変わった。）</li> </ol> <p>〈生きがい教室〉 介護予防を目的とした生活機能向上プログラムを実施し、住み慣れた地域でその人らしくいきいきと過ごされる事を目的としている。</p> <p>〈おとこ料理クラブ〉 男性は妻が体調を崩し家事をやる人がいないと、認知症や病になる事が多いので料理ぐらいは出来るよう開催した。</p>		<b>■内容</b>	地域包括支援センター職員配置	佐々町の概要	保健師 2人	人口 13,978人	主任介護支援専門員 5人	世帯数 5,893人	社会福祉士 1人	高齢者数 3,806人	介護支援専門員 1人	高齢化率 27.2%	介護認定調査員 2人 計11人
<b>■内容</b>	地域包括支援センター職員配置												
佐々町の概要	保健師 2人												
人口 13,978人	主任介護支援専門員 5人												
世帯数 5,893人	社会福祉士 1人												
高齢者数 3,806人	介護支援専門員 1人												
高齢化率 27.2%	介護認定調査員 2人 計11人												

〈地区集会所における通いの場の設立〉体操等を行う。講師を派遣して行うのではなく、地域の方に体操を学んでもらい、地域の講師となって普及活動をしてもらう。

(地区割り担当制の導入)

地域のやる気に応じていくために、7人の職員で32地区を割り振って担当した。

#### ■所感

佐々町の取り組みとして、地域包括の職員を増やし、徹底的に地域力の向上を図っていた。認定率を低下させると認定を厳しくし、サービスを低下させたと誤解を生むが全くそうではない。今後、高齢者数は増加の一途をたどり介護費用は増加する。そうなれば、市も市民も全ての人が財政的負担を強いられる事になる。そうならないよう将来にわたって公平公正な制度を持続させるには、全ての人が考え方を改め介護予防に取り組む必要がある。佐々町はそういった意味で、大変、参考になる取り組みをしている。